

公益財団法人 平野政吉美術財団

平成24年度 事業実施計画

I 展示公開事業（自主事業）

II 教育普及事業（自主事業）

III 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

平成24年3月27日

<基本方針>

- ・1930年代の藤田嗣治の油彩画を中心とした平野政吉コレクションの展示や美術品に関する調査・研究等を行い、県民の芸術文化向上と豊かな青少年の育成を図る。
- ・教育普及事業では、企画展関連講演会、講座、ギャリートークを実施し開かれた美術館を目指す。特に「秋田の行事」は、月一回の定例ギャラリートーク（年2回手話通訳付き）を行い、県民が美術作品に親しみをもち、郷土への理解を深めることができるよう継続して取り組む。
- ・セカンドスクール対応の充実により、学校教育への支援と学習の場を提供する。24年度は学校と連携をして、美術館における鑑賞教育の在り方をともに考え実践する。
- ・美術館ホールでは利用者の利便性を図り、地域の文化団体等との連携により県民に開かれた美術館活動を展開する。

I 展示公開事業（自主事業）

常設展示（通年展示公開）

藤田嗣治油彩画 (10点)	壁画「秋田の行事」 「五人女」「眠れる女」「北平の力士」「自画像」「1900」「踊子」 「客人」「私の画室」「台所」
藤田嗣治素描 (25点)	「秋田の行事の素描」15点「北京での素描」4点「メキシコでの素描」 5点「女」1点
西洋画 (62点)	油彩画「宗教画」2点 版画ゴヤ「闘牛技」34点 リオス「水を汲む少女」、リヒテル「トルコの後宮」等26点
写真 (27点)	「藤田嗣治」「平野政吉」関連

企画展 「藤田嗣治の旅」 ～中南米のエネルギーとコスモロジー～

1. 展示会場 2階 小展示室
2. 会 期 平成23年12月15日（木）～平成24年6月17日（日）
3. 展示内容

藤田嗣治は1931年10月、パリを離れ、マドレーヌとともにブラジルへ旅立った。それから約2年間中南米を巡遊する。リオ・デ・ジャネイロ、サンパウロ、ブエノスアイレスなどを訪れ、その後高地ボリビアへ。ラパスを経て、ペルーのクスコやマチュピチュへも赴いた。カヤオからは海路キューバへ向かい、メキシコには長期逗留した。藤田は旅の途中、仮面、土器、土偶、石製品、人形などを入手した。それらの品々には、民族の世界観に基づいて作られた祭具や考古遺物も含まれる。南米では、キリスト教と土着の信仰が融合した宗教画も収集した。

この展覧会では、藤田の旅程を辿りながら、150点を超える収集品、宗教画、また、ブラジルに取材した油彩画、メキシコでのデッサンなどを展観する。

4. 主な展示作品

藤田嗣治油彩画	「カーナバルの後」「町芸人」「室内の女二人」「吾が画室」
素描	「リオの人々（下絵）」「メキシコでの素描」5点
クスコ派の宗教画	「聖母子像」「聖母」「キリストを抱く聖人」「若きキリストと聖ヨセフ」
藤田収集品	仮面・土偶・岩偶・石製品・石器・人形

企画展 「藤田嗣治の旅II」 ～マドレーヌ・ルクーとともに～

1. 展示会場 2階 小展示室
2. 会 期 平成24年6月21日（木）～9月23日（日）
3. 展示内容

藤田嗣治の4番目の妻、マドレーヌ・ルクーは、カジノ・ド・パリの踊り子だった。藤田とはパリで出会い、ともに中南米を旅行し、1933年に来日する。藤田は、マドレーヌに出会ってまもなくパリで描いた油彩画「眠れる女」（1931年）をはじめとし、東京・戸塚のアトリエで急死するまで、妻を描き続けた。

この展覧会では、二人の旅を追うように、リオ・デ・ジャネイロ、ブラジル、東京でのマドレーヌの肖像を紹介する。

4. 主な展示作品

油彩画	「眠れる女」
素描	「裸婦立像」1931年「裸婦立像」1932年「横臥裸婦」1931年「横臥裸婦」1932年「裸婦」1932年 横臥裸婦「夢」（以上秋田県立近代美術館蔵）
彩色・絹本	「マドレーヌ像」（羽子板型）
写真	「藤田とマドレーヌ・ペルーリマにて」
藤田収集品	ペルー土器・ペルー人形・民芸品

企画展 「藤田嗣治のまなざし」 ～かわいいものへ・小さな人へ～

1. 展示会場 2階 小展示室

2. 会 期 平成24年9月27日（木）～25年3月31日（日）

3. 展示内容

藤田嗣治は、細やかな暮らしの品々を好んでモチーフとして取り上げた。身の回りにはかわいい小物を置き並べ、年の離れたマドレーヌへの思いも幼さを慈しむようなところがあった。また、戦後、パリへ戻ってから描いた子どもの絵には、子どもへの愛情が感じられる。

この展覧会では、マドレーヌを描いたデッサン、子どもを描いた版画、身辺においた人形など、藤田の繊細なまなざしを紹介する。

4. 主な展示作品

リトグラフ	「パンを持つ少女」 <u>四十雀より</u> 「ワイン」「料理人」「うわさ話」「たばこ」「お金」 「パンを持つ少女」「パリの城壁」「香水オートクチュール」 「教会 カテドラル」「下着」「グルメ」「発明」「切手」「絵画」
木口版画	<u>小さな職人と商人より</u> 「印刷工」「編み物」「焼き栗売り」「ガラス売り」「自画像」
素描	「マドレーヌ像（花をまく）」
写真	「戸塚のアトリエの藤田とマドレーヌ」
藤田収集品	ペルー人形・ペルー土器・笛・鈴

II 教育普及活動（自主事業）

1. 講演会

講演会名	「藤田嗣治が訪れた南米アンデスの古代文化」 *企画展「藤田嗣治の旅」関連
実施日	平成24年5月19日（土）
会 場	2階 研修室
講 師	井関睦美氏（中米考古学者）
<p><講演会趣旨></p> <p>藤田嗣治は中南米旅行中、ボリビアからペルーへと赴いた。ペルーでは、マチュピチュ遺跡も訪れている。藤田の足跡に関連する遺跡や古代文明について、井関睦美氏に紹介していただく。</p>	

2. トークショー

演 題	「マドレーヌを語る」 *企画展「藤田嗣治の旅Ⅱ」関連
実施日	平成24年7月14日(土)
会 場	2階 研修室 定員30名
対談者	当館理事 藤田嗣隆氏 学芸スタッフ
<p><演題趣旨> 藤田嗣治の兄の孫である藤田嗣隆氏から、日本に帰国した頃の藤田とマドレーヌや戸塚のアトリエについて、身近な立場から見た二人のエピソードを紹介していただく。</p>	

3. ギャラリートーク (学芸員)

企画展関連	「藤田嗣治の旅」 ~中南米のエネルギーとコスモロジー~
実施日	平成23年12月~平成24年6月 各第三土曜日 13:30~
会 場	2階 小展示室
企画展関連	「藤田嗣治の旅Ⅱ」 ~マドレーヌ・ルクーとともに~
実施日	平成24年6月23日 7月21日 8月18日 9月22日 各土曜日 13:30~
会 場	2階 小展示室
企画展関連	「藤田嗣治のまなざし」 ~かわいいものへ・小さな人へ~
実施日	平成24年10月~平成25年 各第三土曜日 13:30~
会 場	2階 小展示室
定例ギャラリートーク	「秋田の行事」を読み解く
実施日	毎月第一土曜日 14:30~15:00 *手話通話(6・8月)
会 場	2階 大展示室
<p>壁画「秋田の行事」を中心に藤田嗣治作品の魅力を紹介するとともに、そこに描かれた秋田の民俗についても解説する。</p>	

4. 美術館教室

教室名	「藤田が愛した人形を作ってみよう」 *企画展「藤田嗣治のまなざし」関連
実施日	10月 7日(日) 定員30名
会 場	2階 研修室
講 師	未定
<p><内容> 藤田が中南米で収集した人形と同じものを制作することによって、藤田のまなざしや志向を考える。</p> <p><制作過程> ①中南米で収集した人形たちを鑑賞し、構想をもとにラフスケッチを描く。 ②ラフスケッチをもとに紙粘土等で人形の成形をする。 ③乾燥後、着彩をする。必要に応じて装飾品を付ける。</p>	

5. セカンドスクール等

- ①学芸員解説による美術鑑賞や職場体験学習を随時受け付ける。
- ②教育機関との連携による美術鑑賞授業への協力を進める。

Ⅲ美術ホール運営事業(貸しホール事業)

1. 事業内容

- ①絵画、デザイン、彫刻、書道、華道、写真、児童・生徒作品等、美術ホールで展示する個人及び団体の利用受付業務、展示指導を行う。
- ②美術ホールと展示室が一体となった利用の促進。

- ・児童・生徒のセカンドスクールや職場体験学習の一環として、美術ホール見学を実施。
- ・大学等の授業の一環として、美術ホールの展示作品と展示室の藤田嗣治作品及び平野政吉コレクションの同時鑑賞を継続する。